MITSUBISHI ELECTRIC
Changes for the Better

家庭から宇宙まで、エコチェンジ。

FACTORY AUTOMATION

三菱 証明用 電力量計

証明用電力量計
リニューアルのおすすめ

17B

証明用電気計器は計量法にて「検定に合格したもの・有効期間内のもの」と規定されています。

検定有効期間満了までに更新（検満更新）が必要です。

取引証明用計器（検定付電力量計）の検定満了更新をご検討されるとき、参考資料としてご活用ください。

電子式電力量計　M2PM シリーズ

表面形電力量計　M8UM シリーズ

誘導形電力量計　M2LM・M2LHM シリーズ

■電力量計 個別カタログ

機種選定・仕様・取扱及び「安全のために必ずお守りください」などを記載しています。
「リニューアルのおすすめ」とともにご活用ください。

機　　種		カタログ名	資料番号
電子式電力量計	M2PM シリーズ	三菱電子式電力量計 M2PM シリーズ	Y-0772
	M8UM シリーズ	三菱表面形電子式電力量計 M8UM シリーズ	Y-0599
	M8P シリーズ	三菱電力量計・三菱電力管理用計器 三菱集中自動検針システム	Y-0564
誘導形電力量計	M2LM・M2LHM シリーズ		

INDEX

1 証明用電気計器の有効期間
1-1 証明用電気計器とは？ …… 3
1-2 有効期間はどのように決められているの？ …… 3
1-3 有効期間はどこを見ればわかるの？ …… 4
2 電力量計の取替え方法
取替え手順 …… 5
特別検定とは …… 5
3 三菱電力量計のシリーズ構成
3-1 機種一覧表（普通級のみ） …… 6
3-2 電力量計との組合せ可能な変成器 …… 6
4 誘導形から「電子式電力量計 M2PM」の特別検定
4-1 特別検定用負担器について …… 7
4-2 誘導形から特別検定が可能な機種 …… 7
4-3 特別検定用負担器の仕様 …… 7
4-4 ご注文の方法 …… 8
5 三菱電力量計の機種変遷（普通級のみ） …… 9

1 証明用電気計器の有効期間

1 証明用電気計器とは?

貸しビル、マンション・アパート、市場、貸店舗、寮等で、オーナーが電力会社に一括して支払った電気料金をそれぞれの使用量に応じて配分するために設置するメーターを「**証明用電気計器(子メーター)**」といいます。

①証明に使用される電力量計は、計量法により「基準適合検査又は検定を受けた**有効期間内のもの**」を使用することが義務付けられています。
検定有効期間満了後に証明用電気計器として使用した場合、**計量法違反**となります。
②電力量計の維持管理は所有者(オーナー等)の責務になります。

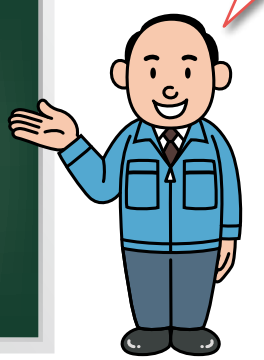
ワンポイント
- 証明用電気計器は、基準適合品又は検定品を設置しましょう。
- 使用中の証明用電気計器は有効期間満了までに取替えましょう。

計量法:第16条　使用の制限
(禁じられている事項)

1) 検定証印又は基準適合証印が付されていないものを使用すること
2) 検定証印又は基準適合証印の有効期間を経過したものを使用すること
3) 変成器とともに使用する電気計器の場合、同じ番号が付されていない変成器とともに使用すること

計量法:第172条　罰則

第16条の使用の制限に違反した場合は、「6ヶ月以下の懲役若しくは50万円以下の罰金に処し、またはこれを併科する」



2 有効期間はどのように決められているの?

(1)証明用電気計器の有効期間

証明用電気計器の有効期間は、計量法施行令第18条により次のように規定されています。

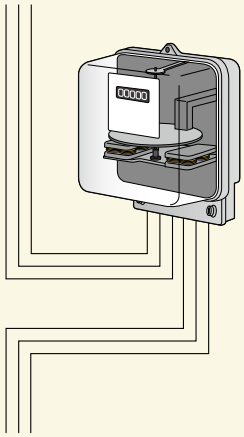
計器の種類			条　件	有効期間
❶	単独計器	誘導形	定格電圧300V以下で30A、120Aの計器	10年
		電子式	定格電圧300V以下で30A、60A、120A、250Aの計器	
❷	変成器組合せ計器	誘導形・電子式	定格電圧又は計器用変圧器(VT)の一次電圧が300V以下で、変流器(CT)の一次電流が120A以下の計器	7年
❸	変成器組合せ計器	誘導形	上記❷以外のもの	5年
		電子式		7年

電力量計のJIS規格名は「変成器付計器」と称しますが,本カタログでは「変成器組合せ計器」と記載しています。

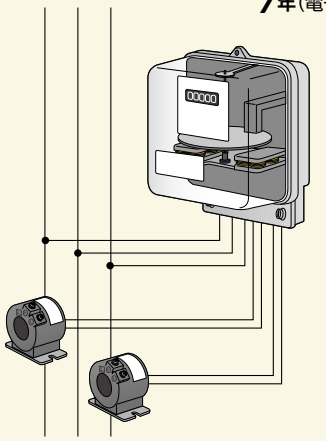
ワンポイント
表面形電子式電力量計M8UMシリーズは250Aの単独計器もラインアップしています。
誘導形で使用する場合と比べて有効期間が2倍とお得です。
(5年→10年)

主な使用例と有効期間

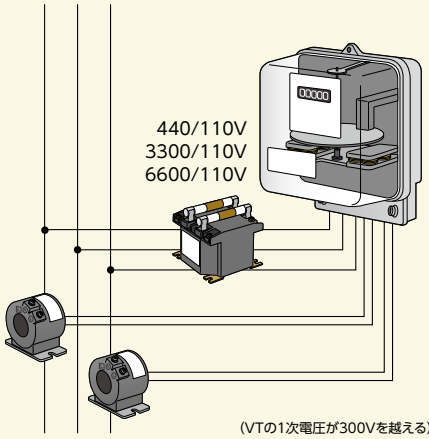
❶ 100V 30A, 120A / 100V 60A, 250A(電子式) / 200V 30A, 120A / 200V 60A, 250A(電子式) …10年



❷ 100V/200V:CT 120/5A以下……7年
❸ 100V/200V:CT 150/5A以上……5年(誘導形) 7年(電子式)



❸ 5年(誘導形) 7年(電子式)



(VTの1次電圧が300Vを越える)

3 有効期間はどこを見ればわかるの?

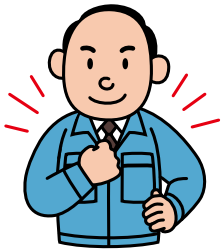
(1)単独計器(変成器と組合せない計器)

電力量計の正面に貼付けてある基準適合証印ラベル又は検定ラベルに有効期間が表示されています。

電子式

電子式

誘導形



基準適合証印ラベル

有効期間：平成40年4月満了
(2028年4月満了)

又は

検定ラベル

有効期間：平成40年4月満了
(2028年4月満了)

ワンポイント

基準適合証印ラベルは、経済産業大臣より指定を受けた製造事業者が貼付することができるものです。
検定ラベルと検定効力は同じです。

(2)変成器組合せ計器

電力量計には検定票(ファイバー)と合番号票(黄銅)が取付いており、有効期間は検定票に表示されています。
なお、組合せの変成器には合番号票のみが取付いています。

検定票(茶かっ色又は灰色のファイバー)

検定の有効期間が表示されています。
(基準適合証印ラベル及び検定ラベルは貼付けてありません)

表面 ○ 広 37 4
- 検定所の略称
- 有効期間(平成37年(2025年)4月満了)

裏面 ○ 広 08787
- 検定番号

合番号票(黄銅)

初回検定に合格した年月及び合番号が表示されています。
(合番号票には有効期間は表示されていません)

表面 ○ 広 09123
- 検定所の略称
- 合番号

裏面 ○ 広 23 4
- 初回検定に合格した年月(平成23年4月合格)

ワンポイント

特別検定※を受けると、電力量計の検定票は新しいものに代わりますが、合番号票は初回検定時と同じものがそのまま取付きます。

※特別検定については5ページを参照ください。

	初回検定時(平成23年4月検定)	特別検定後(平成30年4月検定)
検定票表面	○ 広 30 4	○ 広 37 4
検定票裏面	○ 広 09123	○ 広 08787
合番号票表面	○ 広 09123	○ 広 09123
合番号票裏面	○ 広 23 4	○ 広 23 4

そのため、特別検定としてご注文いただく際には、既設の合番号情報が必要となります。

2 電力量計の取替え方法

有効期間を経過した証明用電気計器は、電気料金の取引及び証明には使用できません。
基準適合証印ラベル又は検定ラベル（単独計器）、検定票（変成器組合せ計器）に表示された有効期間満了迄に新しく取替える必要があります。

取替え手順：変成器組合せ計器の場合

1 電力量計のカバー封印個所に取付けられている検定票より、有効期間を確認してください。

検定票：茶かっ色（有効期間7年）又は灰色（有効期間5年）のファイバー票

表　面	裏　面
○広 30 4	○広09123
検定所の略称　検定の有効期間満了の年月を表わす（平成30年4月満了）	検定番号（受付番号）を表わす

左記例では、検定有効期間は平成30年(2018年)4月までとなります。

2 変成器に取付けられている合番号票より、変成器の初回検定年月を確認してください。
（変成器での確認が困難な場合は、電力量計に取付いている合番号票でご確認ください）

合番号票：黄銅票

表　面	裏　面
○広09123	○広 23 4
検定所の略称　合番号	初回検定に合格した年月を表わす（平成23年4月に合格）

左記例では、平成37年(2025年)4月までは、変成器を取り替えないで電力量計のみを交換する「特別検定」を受けることもできます。

3 電力量計に取付けられている検定票及び変成器に取付けられている合番号票より、電力量計のみ取替える（特別検定※）か、変成器も同時に取替える必要があるか決定してください。
（誘導形電力量計から電子式電力量計M2PMシリーズへの特別検定については7ページをご確認ください）

4 電力量計の取替え工事日程を決定し、必要な計器等をご注文ください。

①電力量計と変成器を同時にお取替え頂く場合

電力量計と変成器を同時にご注文頂き、検定が必要な旨ご連絡ください。
なお、変成器を選定する際には、p6「2 電力量計との組合せ可能な変成器」を参考にしてください。

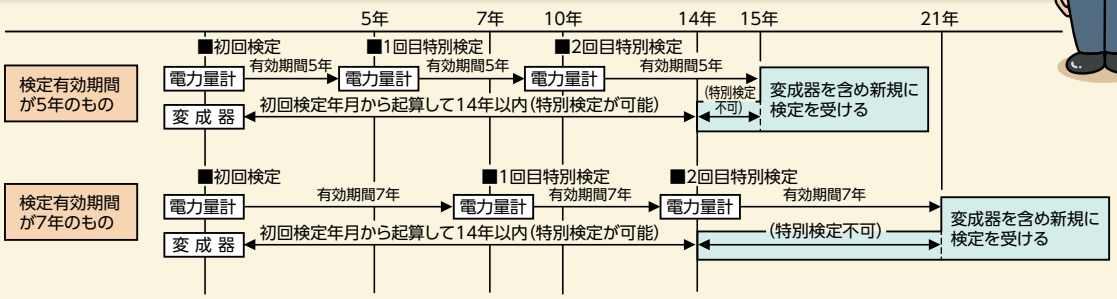
②電力量計のみお取替え頂く場合（特別検定※）

特別検定の電力量計をご注文のときは電力量計の仕様（形名，定格電圧・電流，変成比，周波数等）と特別検定に関する以下の情報をご指示ください。

- ●合番号・初回検定年月（合番号票の表裏）　上記例では合番号:広09123，初回検定年月:23年4月となります。
- ●変成器の形名
- ●変成器の製造番号
- ●「特別検定」が必要な旨のご連絡

※特別検定とは？

初回検定年月から14年を経過していない変成器と組合せの場合、電力量計のみ検定を受けることができる制度です。
通常の検定は、電力量計と変成器を同時に提出して検定を受けますが、特別検定は変成器の調達や変成器の交換工事が不要になるメリットがあります。



3 三菱電力量計のシリーズ構成

1 機種一覧表(普通級のみ)

(1)形名一覧表

相線式	取付	定格電圧(V)	定格電流(A)	誘導形 M2LM・M2LHMシリーズ 発信装置なし	誘導形 M2LM・M2LHMシリーズ 発信装置付	電子式 M2PMシリーズ 発信装置なし	電子式 M2PMシリーズ 発信装置付	電子式 M8UMシリーズ 発信装置付	電子式 M8UMシリーズ 伝送機能付	電子式 M8Pシリーズ 発信装置付
単相2線式	表面形	100 200 240	30 120	M1LM	M1LM-K5 M1LM-K11 M1LM-K12R	M1PM-R	M1PM-S34R	M7UM-S33R	M7UM-SN1R	–
	表面形	100 200 240 /110	/5	M1LHM	M1LHM-K5 M1LHM-K11 M1LHM-K12R	M1PM-R	M1PM-S34R			
	埋込形			M1LHM-V	M1LHM-K5V M1LHM-K11V M1LHM-K12VR	近日発売		–	–	M7P-K30VR
単相3線式	表面形	100	30 120	M2LM	M2LM-K5 M2LM-K11 M2LM-K12R	M2PM-R	M2PM-S34R	M8UM-S33R	M8UM-SN1R	–
			60	–	–	M2PM-R	M2PM-S34R	–	–	–
			250	–	–	–	–	M8UM-S33R	M8UM-SN1R	–
	表面形		/5	M2LHM	M2LHM-K5 M2LHM-K11 M2LHM-K12R	M2PM-R	M2PM-S34R	M8UM-S33R	M8UM-SN1R	–
	埋込形			M2LHM-V	M2LHM-K5V M2LHM-K11V M2LHM-K12VR	近日発売		–	–	M8P-K30VR
三相3線式	表面形	200 100	30 120	M2LM	M2LM-K5 M2LM-K11 M2LM-K12R	M2PM-R	M2PM-S34R	M8UM-S33R	M8UM-SN1R	–
			60	–	–	M2PM-R	M2PM-S34R	–	–	–
			250	–	–	–	–	M8UM-S33R	M8UM-SN1R	–
	表面形	200 100 /110	/5	M2LHM	M2LHM-K5 M2LHM-K11 M2LHM-K12R	M2PM-R	M2PM-S34R	M8UM-S33R	M8UM-SN1R	–
	埋込形			M2LHM-V	M2LHM-K5V M2LHM-K11V M2LHM-K12VR	近日発売		–	–	M8P-K30VR
三相4線式	表面形	100/173 240/415	30 120	M3LM	M3LM-K5 M3LM-K11 M3LM-K12R			–	–	–
	表面形	100/173 240/415 63.5/110	/5	M3LHM	M3LHM-K5 M3LHM-K11 M3LHM-K12R			–	–	–
	埋込形			M3LHM-V	M3LHM-K5V M3LHM-K11V M3LHM-K12VR			–	–	M9P-K30VR

備考1. M2PMシリーズの「空白欄」の機種(三相4線式及び埋込形)は近日発売予定です。
備考2. M2LM・M2LHMシリーズ誘導形電力量計(表面形)は2018年12月末にて受注停止予定です。

(2). 外観

M2LHM形

M2LHM-V形

M2PM-R形

M8UM-S33R形

M8P-K30VR形

2 電力量計との組合せ可能な変成器

●この表は電力量計と組合せて検定が可能な計器用変圧器と変流器の形名を示します。
●計器用変圧器および変流器の各々の使用負担(変成器の二次側に接続される電力量計、計器などの合計負担VA)は下表に記載の検定可能な使用負担の範囲内としてください。

電力量計区分	回路電圧	形名	変流比A	検定可能な使用負担(VA) CTのみの場合		形名 PE-15F PE-15	PD-50HF PD-50H	PD-50HF	EP-0FH (定格負担50VAのみ)	PD-100KFH 検定専用品	PD-15KFH	PD-25KFH
						変圧比(V) 220/110 440/110	220/110 440/110	3300/110 6600/110	3300/110 6600/110	3300/110 6600/110	3300/110 6600/110	3300/110 6600/110
						1~5 / 6~12	3~30	1~30		(注)20~80	3~12	10~20
普通電力量計の場合	1100V以下	CW-5LS3	150/5, 200/5, 250/5	1~5	◎	◎ ○	–	–	–	–	–	–
		CW-5LMS3	250/5, 300/5, 400/5		◎	◎ ○	–	–	–	–	–	–
		CW-15LS	5/5~750/5	2~10	◎	◎	◎	–	–	–	–	–
		CW-15LMS	200/5~4000/5		◎	◎	◎	–	–	–	–	–
		CW-15LMS	5000/5~6000/5		○	○	○	–	–	–	–	–
	6600V以下	CD-25KB	5/5~750/5	1~25	–	–	–	◎	–	○	–	–
		CD-40K*	5/5~750/5	2~30	–	–	–	◎	–	○	–	–
			250/5,500/5		–	–	–	○	–	○	–	–
		CD-25NB	5/5~500/5	1~25	–	–	–	◎	–	○	–	–
		CD-40NA*	5/5~500/5	2~30	–	–	–	◎	–	○	–	–
		CD-40H	600/5~2000/5		–	–	–	◎	–	○	–	–
		CD-25ENB	5/5~400/5	1~25	–	–	–	◎	–	○	–	–
		CD-40ENA*	5/5~400/5	2~30	–	–	–	◎	–	○	–	–
		CD-40GNA	5/5~200/5	4~30	–	–	–	◎	–	○	–	–
		CD-40LN	5/5~100/5		–	–	–	○	–	○	–	–
		EC-0(LA)	5/5~300/5	2~30	–	–	–	○	◎	○	–	–
		BN-0(LA)	10/5~1500/5	4~30	–	–	–	○	○	○	–	–
精密電力量計の場合	6600V以下	CD-15CB	5/5~400/5	4~10	–	–	–	–	–	–	○	○
		CD-15BB*	5/5~400/5		–	–	–	–	–	–	○	○
		BN-0(LA)	10/5~1500/5		–	–	–	–	–	–	○	○

＊CD-40K形、CD-40NA形、CD-40ENA形およびCD-15BB形は2017年12月末にて受注を終了いたしました。

(注)PD-100KFH形は組合せCTの特性および組合せの電力量計他,計器の負担,力率によって製作仕様を決定しますので組合せCTの仕様およびVT・CTの使用負担の詳細をご連絡ください。

記号説明

◎標 準 品:
標準仕様品がそのまま使用できます。

○準標準品:
VTおよびCTは検定用として製作が必要です。必ず「検定用」または「検定付」とご指定ください。

4 誘導形から「電子式電力量計M2PM」の

「変成器組合せの誘導形電力量計」の検定満了更新が行なわれる場合，以下の方法があります。

- ●新規検定：WHM、VT（組合せ使用のときのみ）、CT を新規に調達して「検定」を行う方法。（変成器の取替工事が必要）
- ●特別検定：電子式電力量計 M2PM シリーズにて「特別検定」を行う方法 ⇒「特別検定用負担器」が必要です。
- ●既設と同一機種にて特別検定を行う方法。（誘導形電力量計（表面形）は 2018 年 12 月末にて受注停止予定です）

1 特別検定用負担器について

計器用変成器の使用負担範囲（電力量計の電圧回路及び電流回路の負担と力率の値）が誘導形電力量計（既設）と電子式電力量計 M2PM シリーズは異なるため，誘導形の検定満了更新として電子式電力量計 M2PM シリーズ単独では特別検定が受けられません。

上記の使用負担範囲（電力量計の負担及び力率の値）を合せるための「特別検定用負担器」と組合せることで電子式電力量計 M2PM シリーズにて特別検定が可能となります。

特別検定用負担器は VT 及び CT2 次回路に電子式電力量計 M2PM シリーズと組合せて使用します。

2 誘導形から特別検定が可能な機種

	既設の電力量計（誘導形）	電子式電力量計（M2PM シリーズ）	CT 組合せ（VT なし）		VT・CT 組合せ		
			特別検定（M2PM シリーズ）	負担器の台数	特別検定（M2PM シリーズ）	負担器の台数	
				M2PM-LC		M2PM-LC	M2PM-LV50 M2LM-LV60
単相2線	M1LHM	M1PM-R	○	1台	○	1台	1台
	M1LHM-K5	M1PM-S34R	○	1台	○	1台	1台
	M1LHM-K11	M1PM-S34R	○	1台	×	−	−
	M1LHM-K12R	M1PM-S34R	○	1台	×	−	−
単相3線	M2LHM	M2PM-R	○	2台	対象無し		
	M2LHM-K5	M2PM-S34R	○	2台			
	M2LHM-K11	M2PM-S34R	○	2台			
	M2LHM-K12R	M2PM-S34R	○	2台			
三相3線	M2LHM	M2PM-R	○	2台	○	2台	2台
	M2LHM-K5	M2PM-S34R	○	2台	○	2台	2台
	M2LHM-K11	M2PM-S34R	○	2台	×	−	−
	M2LHM-K12R	M2PM-S34R	○	2台	×	−	−

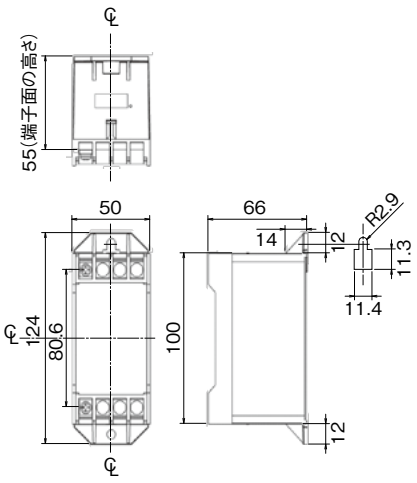
○：特別検定が可能です。右欄に記載の特別検定用負担器と組合せてご使用ください。
×：特別検定は受けられません。WHM 及び計器用変成器（VT･CT）の新規組合せの検定が必要です。（VT・CT の取替工事が必要です）
注1．初回検定（既設品）の申請内容によっては特別検定が受けられない場合があります。予めご了承ください。

3 特別検定用負担器の仕様

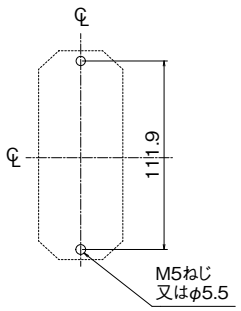
■仕様一覧

	CT2 次回路用	VT2 次回路用	
形名	M2PM-LC	M2PM-LV50	M2PM-LV60
定格周波数	50-60Hz（共用）	50Hz	60Hz
定格電圧	—	110V	110V
定格電流	5A	—	—
負担値（平均値）	2.5VA 力率 0.5（50Hz） 2.8VA 力率 0.5（60Hz）	4.7VA 力率 0.2	4.9VA 力率 0.2
質量　(kg)	0.2	0.3	0.3

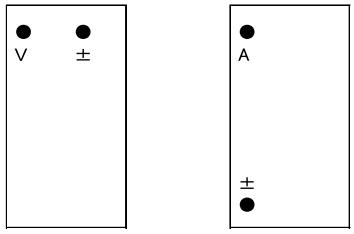
■外形寸法図（単位：mm）



■取付寸法図（単位：mm）



■端子配置図

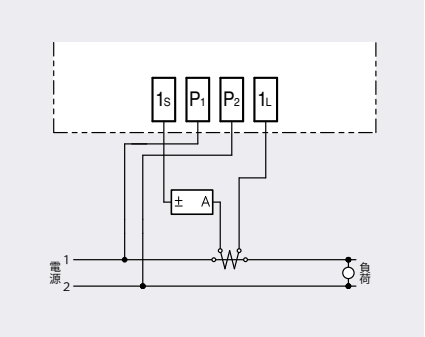


M2PM-LV50
M2PM-LV60

M2PM-LC

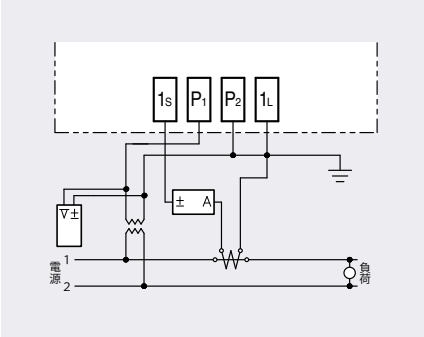
■接続図

単相2線



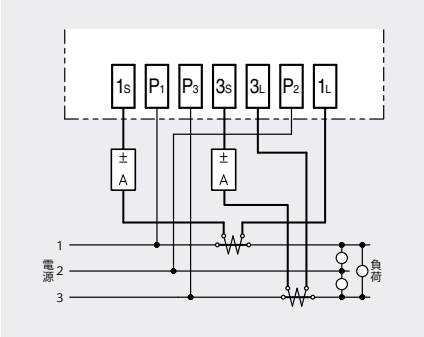
M1PM-R，M1PM-S34R
CT と組合せ

単相2線



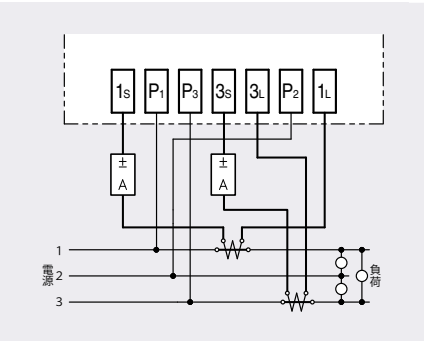
M1PM-R，M1PM-S34R
VT･CT と組合せ

単相3線



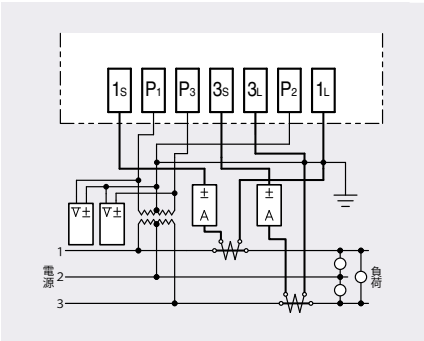
M2PM-R，M2PM-S34R
CT と組合せ

三相3線



M2PM-R，M2PM-S34R
CT と組合せ

三相3線



M2PM-R，M2PM-S34R
VT･CT と組合せ

ご注意	検満更新時に計器用変成器（VT・CT）と電力量計の間に特別検定用負担器を接続してください。 特別検定用負担器を接続しませんと、取引・証明用計器としてご使用できません。

4 ご注文の方法

特別検定用負担器と組合せて電子式電力量計 M2PM シリーズの特別検定をご注文される場合、特別検定の情報及び「特別検定用負担器付き」（負担器付きのご指示も可）をご指示ください。

■電子式電力量計 M2PM シリーズ 特別検定の指示一覧

指示項目		指示方法	指示例
電力量計の仕様	①形名	M2PM シリーズ WHM の形名	M2PM-S34R
	②相線式	○相□線（又は○ P □ W）	三相 3 線（又は 3P3W）
	③定格電圧（VT なし）又は VT 比	VT 比：○／ 110V 又は□ V	440/110V（又は 200V）
	④ CT 比	CT 比：○／ 5A	100/5A
	⑤周波数	50Hz 又は 60Hz	50Hz
特別検定の情報	①特別検定	特別検定	特別検定
	②組合せの VT 形名及び VT 製番（VT 組合せのとき）	VT 形名（製番○，□）	PE-15F（1234A，1234C）
	③組合せの CT 形名及び CT 製番	CT 形名（製番○，□）	CW-15LS（1234D，1234F）
	④合番号	□○○○○○	広 56789
	⑤初回検定年月（和暦）	□年○月（又は□．○）	23 年 5 月（又は 23．5）
	⑥特別検定用負担器の指示	特別検定用負担器付き（又は負担器付き）	
その他	パルス単位，パルス幅，乗率（ご指示無い場合，弊社標準仕様にて製作いたします）		

5 三菱電力量計の機種変遷（普通級のみ）

1.単独計器（発信装置なし）

取付・接続方式	相線式	定格電流	西暦 70 75 80 85 90 95 00 05 10 15 昭和 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 平成 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
表面形（表面取付 表面接続）	単相2線式	30A以下	ME-21 → MF-70 → MF-80 → M1B → M1LM → M1PM-R
		120A以下	MF-75 → MF-80G → M1B → M1LM → M1PM-R
	単相3線式	30A以下	MU → MU-70 → MU-80E → M2B → M2LM → M2PM-R
		120A以下	MU → MU-70 → MU-80GE → M2B → M2LM → M2PM-R
	三相3線式	30A以下	MU → MU-70 → MU-80 → M2B → M2LM → M2PM-R
		120A以下	MU → MU-70 → MU-80G → M2B → M2LM → M2PM-R
	三相4線式	30A以下	YU-70 → MH-80 → M3B → M3LM
		120A以下	M3B → M3LM

2.単独計器（発信装置付）

取付・接続方式	相線式	定格電流	西暦 70 75 80 85 90 95 00 05 10 15 昭和 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 平成 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
表面形（表面取付 表面接続）	単相2線式	30A以下	MF-70L → MF-70K5 → MF-80K5 → M1B-K5 → M1LM-K5 MF-80K11 → M1B-K11 → M1LM-K11, M1LM-K12R M1PM-S34R M7U-K32R → M7UM-S33R ※3
		120A以下	MF-75K2 → MF-75K5 → MF-80GK5 → M1B-K5 → M1LM-K5 MF-80GK11 → M1B-K11 → M1LM-K11, M1LM-K12R M1PM-S34R M7U-K32R, M7U-SN1R, M7U-SN2R → M7UM-S33R, M7UM-SN1R, M7UM-SN2R※4 ※3
	単相3線式	30A以下	MF-70L → MU-70K5 → MU-80EK5 → M2B-K5 → M2LM-K5 MU-80EK11 → M2B-K11, M2B-K12R → M2LM-K11, M2LM-K12R M2PM-S34R M8U-K32R, M8U-SN1R, M8U-SN2R → M8UM-S33R, M8UM-SN1R, M8UM-SN2R※4 ※3
		120A以下	MU-70K2 → MU-70K5 → MU-80GEK5 → M2B-K5 → M2LM-K5 MU-80GEK11 → M2B-K11, M2B-K12R → M2LM-K11, M2LM-K12R M2PM-S34R M8U-K32R, M8U-SN1R, M8U-SN2R → M8UM-S33R, M8UM-SN1R, M8UM-SN2R※4 ※3
		250A以下	M8U-S32R, M8U-SN1R, M8U-SN2R → M8UM-S33R, M8UM-SN1R, M8UM-SN2R※4
	三相3線式	30A以下	MU-70L → MU-70K5 → MU-80K5 → M2B-K5 → M2LM-K5 MU-80K11 → M2B-K11, M2B-K12R → M2LM-K11, M2LM-K12R M2PM-S34R M8U-K32R, M8U-SN1R, M8U-SN2R → M8UM-S33R, M8UM-SN1R, M8UM-SN2R※4 ※3
		120A以下	MU-70K2 → MU-70K5 → MU-80GK5 → M2B-K5 → M2LM-K5 MU-80GK11 → M2B-K11, M2B-K12R → M2LM-K11, M2LM-K12R M2PM-S34R M8U-K32R, M8U-SN1R, M8U-SN2R → M8UM-S33R, M8UM-SN1R, M8UM-SN2R※4 ※3
		250A以下	M8U-S32R, M8U-SN1R, M8U-SN2R → M8UM-S33R, M8UM-SN1R, M8UM-SN2R※4
	三相4線式	30A以下	YU-70K5 → MH-80K5 → M3B-K5 → M3LM-K5 MH-80K11 → M3B-K11, M3B-K12R → M3LM-K11, M3LM-K12R
		120A以下	M3B-K5, M3B-K11, M3B-K12R → M3LM-K5, M3LM-K11, M3LM-K12R

※1. → は旧機種、→ は現行機種を表します。
※2. 網掛け部分は電子式電力量計です。
※3. M8UシリーズとM8UMシリーズの計器取付ねじ長さは、250A定格を除き互換性はありません。
（取付穴深さ:M8UMシリーズ42.5mm、M8Uシリーズ27mmのため15.5mmの差分）交換時の取付ねじ選定にはご注意ください。
※4. M7UM-SN2R形、M8UM-SN2R形（LonWorks®通信）は2017年6月末日にて受注終了しました。

3.変成器組合せ計器（発信装置なし）

取付・接続方式	相線式	定格電流	西暦 70 75 80 85 90 95 00 05 10 15 昭和 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 平成 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
表面形（表面取付 表面接続）	単相2線式	5A	MF-72 → MF-80H → M1BH → M1LHM → M1PM-R
	単相3線式		MU-70 → MU-80HE → M2BH → M2LHM → M2PM-R
	三相3線式		MU-70 → MU-80H → M2BH → M2LHM → M2PM-R
	三相4線式		YU-72 → MH-80H → M3BH → M3LHM
埋込形（埋込取付 背面接続）	単相2線式		MF-72B → MF-80HV → M1BH-V → M1LHM-V
	単相3線式		MU-70B → MU-80HEV → M2BH-V → M2LHM-V
	三相3線式		MU-70B → MU-80HV → M2BH-V → M2LHM-V
	三相4線式		YU-72B → MH-80HV → M3BH-V → M3LHM-V

4.変成器組合せ計器（発信装置付）

取付・接続方式	相線式	定格電流	西暦 70 75 80 85 90 95 00 05 10 15 昭和 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 平成 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
表面形（表面取付 表面接続）	単相2線式	5A	MF-72L → MF-72K5 → MF-80HK5 → M1BH-K5 → M1LHM-K5 MF-80HK11 → M1BH-K11 → M1LHM-K11, M1LHM-K12R M1PM-S34R M7U-K32R, M7U-SN1R, M7U-SN2R → M7UM-S33R, M7UM-SN1R, M7UM-SN2R※4 ※3
	単相3線式		MU-70L → MU-70K5 → MU-80HEK5 → M2BH-K5 → M2LHM-K5 MU-80HEK11 → M2BH-K11, M2BH-K12R → M2LHM-K11, M2LHM-K12R M2PM-S34R M8U-K32R, M8U-SN1R, M8U-SN2R → M8UM-S33R, M8UM-SN1R, M8UM-SN2R※4 ※3
	三相3線式		MU-70L → MU-70K5 → MU-80HK5 → M2BH-K5 → M2LHM-K5 MU-80HK11 → M2BH-K11, M2BH-K12R → M2LHM-K11, M2LHM-K12R M2PM-S34R M8U-K32R, M8U-SN1R, M8U-SN2R → M8UM-S33R, M8UM-SN1R, M8UM-SN2R※4 ※3
	三相4線式		YU-72K2 → YU-72K5 → MH-80HK5 → M3BH-K5 → M3LHM-K5 MH-80HK11 → M3BH-K11, M3BH-K12R → M3LHM-K11, M3LHM-K12R
埋込形（埋込取付 背面接続）	単相2線式		MF-72BL → MF-72K5B → MF-80HK5V → M1BH-K5V → M1LHM-K5V MF-80HK11V → M1BH-K11V → M1LHM-K11V, M1LHM-K12VR MUE-220K10VR → M7G-K30VR → M7P-K30VR
	単相3線式		MU-70BL → MU-70K5B → MU-80HEK5V → M2BH-K5V → M2LHM-K5V MU-70BM, MU-70BZ（代替機種なし） ←受量器の仕様により受信装置の形式を選定する MU-80HEK11V → M2BH-K11V, M2BH-K12VR → M2LHM-K11V, M2LHM-K12VR MUE-320K10VR → M8G-K30VR → M8P-K30VR
	三相3線式		MU-70BL → MU-70K5B → MU-80HK5V → M2BH-K5V → M2LHM-K5V MU-70BM, MU-70BZ（代替機種なし） ←受量器の仕様により受信装置の形式を選定する MU-80HK11V → M2BH-K11V, M2BH-K12VR → M2LHM-K11V, M2LHM-K12VR MUE-320K10VR → M8G-K30VR → M8P-K30VR
	三相4線式		YU-72K2B → YU-72K5B → MH-80HK5V → M3BH-K5V → M3LHM-K5V MH-80HK11V → M3BH-K11V, M3BH-K12VR → M3LHM-K11V, M3LHM-K12VR MHE-420K10VR → M9G-K30VR → M9P-K30VR

ご採用に際してのご注意

●本製品を、原子力用、電力用、航空宇宙用、医療用、乗用移動体用の機器あるいはシステムなど特殊用途への適用をご検討の際には、当社の営業担当窓口までご照会ください。
●当社の責に帰すことができない事由から生じた損害、当社製品の故障に起因するお客様での機会損失、逸失利益、当社の予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害、二次損害、事故補償、当社製品以外への損傷およびその他の業務に対する補償については、当社は責任を負いかねます。

⚠ 安全に関するご注意

●本カタログに記載された製品を正しくお使いいただくため、ご使用の前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。
●安全のため接続は電気工事、電気配線などの専門技術を有する人が行ってください。

三菱電機株式会社

〒100-8310　東京都千代田区丸の内2-7-3（東京ビル）

お問い合わせは下記へどうぞ

本社機器営業第一部 …… 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3（東京ビル7F） …… (03)3218-6662
北海道支社 …… 〒060-8693 札幌市中央区北二条西4-1（北海道ビル5F） …… (011)212-3789
東北支社 …… 〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-1-20（花京院スクエア） …… (022)216-4554
関越支社 …… 〒330-6034 さいたま市中央区新都心11-2（明治安田生命さいたま新都心ビル ランド・アクシス・タワー34F） …… (048)600-5845
新潟支店 …… 〒950-8504 新潟市中央区東大通2-4-10（日本生命ビル6F） …… (025)241-7227
神奈川支社 …… 〒220-8118 横浜市西区みなとみらい2-2-1（横浜ランドマークタワー18F） …… (045)224-2625
北陸支社 …… 〒920-0031 金沢市広岡3-1-1（金沢パークビル） …… (076)233-5501
中部支社 …… 〒450-6423 名古屋市中村区名駅3-28-12（大名古屋ビルヂング22F） …… (052)565-3341
豊田支店 …… 〒471-0034 豊田市小坂本町1-5-10（矢作豊田ビル） …… (0565)34-4112
関西支社 …… 〒530-8206 大阪市北区大深町4-20（グランフロント大阪タワーA） …… (06)6486-4096
中国支社 …… 〒730-8657 広島市中区中町7-32（ニッセイ広島ビル） …… (082)248-5296
四国支社 …… 〒760-8654 高松市寿町1-1-8（日本生命高松駅前ビル） …… (087)825-0072
九州支社 …… 〒810-8686 福岡市中央区天神2-12-1（天神ビル） …… (092)721-2243

電話技術相談窓口　受付時間　月曜～金曜　9:00～19:00、　土曜・日曜・祝日　9:00～17:00（春季・夏季・年末年始の休日を除く）

対象機種		電話番号
電力管理用計器	電力量計/スマートメーター／計器用変成器 指示電気計器／管理用計器／タイムスイッチ	052-719-4556

お問い合わせの際には、今一度電話番号をお確かめの上、お掛け間違いのないようお願い致します。

FAX技術相談窓口　受付時間　月曜～金曜　9:00～16:00（祝日・当社休日を除く）

対象機種		FAX番号
電力管理用計器	電力量計/スマートメーター／計器用変成器 指示電気計器／管理用計器／タイムスイッチ	084-926-8340

三菱電機FAサイトの「仕様・機能に関するお問い合わせ」もご利用ください。

三菱電機FAサイト

三菱電機 FA　検索
www.MitsubishiElectric.co.jp/fa

メンバー登録無料!

インターネットによる情報サービス「三菱電機FAサイト」

三菱電機FAサイトでは、製品や事例などの技術情報に加え、トレーニングスクール情報や各種お問い合わせ窓口をご提供しています。また、メンバー登録いただくとマニュアルやCADデータ等のダウンロード、eラーニングなどの各種サービスをご利用いただけます。

●このカタログは、再生紙を使用しています。

Y-0578P 1804〈IP〉

この印刷物は、2018年4月の発行です。お断りなしに仕様を変更することがありますのでご了承ください。

2018年4月作成